



「放射36号線沿道まちづくり懇談会」を開催しました。

東京都は都市計画道路放射第35号線・36号線(環七～早宮二丁目間)の整備に先立ち、測量説明会等を行っています。練馬区では、この都市計画道路の整備にあわせて、沿道のまちづくりの検討を進めています。今回は、下記の2会場で地域の皆様との懇談会を開催し、今後の沿道まちづくりについての意見交換を行いました。(参加者:計24名)

会場：桜台地区区民館・レクルーム

日時:平成23年1月26日(水) 19:00～20:30

参加者:11名



会場：早宮地域集会所・集会室

日時:平成23年1月28日(金) 19:00～20:30

参加者:13名



懇談会の内容

1. 調査結果等の報告

練馬区と東京都の役割について

放射36号線沿道地区の意向調査結果について(平成21年8月に実施した調査の概要)

まちの特性について(土地利用現況など基礎調査の概要)

今後のまちづくりの進め方について(下図を参照ください)

2. まちづくりについての意見交換(次ページを参照ください)

懇談会の資料につきましては、下記の練馬区HPにて閲覧できます。

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/housha36.html>

今後のまちづくりの進め方について

まちづくりニュースの定期的発行

説明会等の開催

まちづくり意向調査等の実施、他



まちづくり検討会

まちづくりについて継続的に検討していくため、まちづくり検討会を設置します。地域の方への情報の周知や意向等の把握をしながら、まちづくり検討会を進めます。



主な意見の内容

まちづくり懇談会における参加者からの主な意見は以下の通りです。練馬区では、これらを踏まえまちづくりの検討を進めるとともに、東京都をはじめとした関係機関と協議いたします。

<地域のまちづくりについて>

まちづくりの方向性

- ・ゆったりとした地域の緑の多さに愛着を感じている。
- ・区が掲げる緑被率(地域の面積に対して緑が占める割合)30%という目標を踏まえて、まちづくりを進めるべきである。
- ・マイクロバスやバス網など公共交通の充実が望ましい。
- ・石神井川沿いは、集中豪雨などの都市災害を考慮して道路やまちづくりを進めてほしい。
- ・氷川台駅周辺の駐輪対策を十分検討してほしい。



まちづくりの進め方

- ・継続的に、まちづくりについて話し合う機会を設定していただきたい。
- ・沿道の都市計画の変更に際しては、住民意向に十分配慮していただきたい。
- ・まちづくり検討会のメンバーは、意欲のある人から選ぶべきである。
- ・まちづくりに関する情報の連絡網(メール、ニュース等)を検討していただきたい。

<東京都など関係機関との協議について>

道路整備事業

- ・東京都から、道路の構造(歩道や交差点形状、埋設物等)、環境への影響、整備スケジュールについて、早めに情報を入手した上で、まちづくりを進めるべきである。
- ・道路の両側で街の姿が分断される印象がないように横断歩道等(地下道、歩道橋、エスカレータ整備も含め)の検討を行っていただきたい。
- ・駅には、タクシーベイの設置が望ましい。

その他

- ・氷川台駅のエレベーターは1箇所だけでなく、2箇所設置してほしい。
- ・細街路からなるべく通過交通を排除するよう、警察と相談してほしい。

【お問合せ】練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課 担当 関谷 木曾 小島

電話：03-5984-1594 ファックス：03-5984-1226 E-mail：TOUBU@city.nerima.tokyo.jp

この「放射36号線沿道地区まちづくりニュース」は、練馬区ホームページでご覧になれます。

「放射36号線沿道まちづくり」で検索してください。